

政策(基本方針)Ⅳ：みんな元気で笑顔あふれるまちづくり

24

施策名

歴史と伝統文化を活かした郷土愛の醸成

目的と施策の方針

対象

◆市民や市の出身者

意図

◆合志市の歴史、伝統文化に触れ、郷土に対する愛着や誇りを持つ

成果指標	単位
A：合志市の歴史、伝統文化に触れている市民の割合〔市民アンケート〕	%
B：合志市を郷土として愛着を感じていると答えた市民の割合〔市民アンケート〕	%
C：合志市を郷土として誇りを持っていると答えた市民の割合〔市民アンケート〕	%

成果指標	平成21年度 現状値	数値区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
A	45.6%	成り行き値	45.6%	45.6%	45.6%	45.6%	45.6%
		目標値	46.0%	46.7%	47.5%	48.2%	49.0%
B	69.9%	成り行き値	69.9%	69.9%	69.9%	69.9%	69.9%
		目標値	69.9%	70.0%	70.0%	70.5%	70.9%
C	59.8%	成り行き値	59.8%	59.8%	59.8%	59.8%	59.8%
		目標値	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%

◆成果指標の目標設定とその根拠

A：歴史伝統文化に触れている市民の割合の成り行き値は、実績値の推移を踏まえると、極端な増減はないと考え、平成21年度実績値45.6%で平成27年度まで推移すると設定しました。

目標値は、市民に、市の文化財や郷土芸能についての周知を図り、歴史資料館での特別展やふるさと探訪バスツアーなどの取り組みをさらに充実するとともに、伝統的な祭り等を支援していくことで、微増すると考え、第1期基本計画の目標値であった49.0%を平成27年度目標値と設定しました。

B：郷土として愛着を感じている市民の割合の成り行き値は、実績値の推移を踏まえると、極端な増減はないと考え、平成21年度実績値69.9%で平成27年度まで推移すると設定しました。

目標値は、現状でも69.9%の人が愛着を感じており、水準は高いと考えられますが、今後も市指定文化財を掘り起こし、周知、啓発していくことにより、郷土を再発見してもらう機会が増えると考え、第1期基本計画の目標値である70.9%を目標値として設定しました。

C：郷土として誇りを持っている市民の割合の成り行き値は、実績値の推移を踏まえると、極端な増減はないと考え、平成21年度実績値59.8%で平成27年度まで推移すると設定しました。

目標値は、現状でも59.8%の人が誇りを感じており、水準は高いと考えられますが、子ども達が地域や学校で歴史や伝統文化に触れ合う機会を作り、歴史や伝統文化への理解を深めることで、少しずつ誇りをもってもらうようになると考え、平成27年度の目標値を60.0%と設定しました。

◆施策の現状と今後の状況変化

- 歴史資料館と郷土資料館の統合に向けて、両館の収蔵物調査を進め、収蔵と展示のあり方が検討されます。
- 文化財の標柱等の老朽化が進んでおり、分かりづらくなっています。
- 伝統的郷土芸能や歴史的な祭りの保存・継承活動を行なう団体の高齢化が進み、存続が難しくなっています。

◆施策の課題

- 地域の歴史や伝統文化について、ブランド化につながるよう関係機関との連携を図り、アピールに努めます。
- 文化財指定基準要綱の基準に基づき、指定を進めていきます。
- 歴史資料館と郷土資料館の統合に向けて、両館の収蔵物調査を踏まえ、収蔵と展示のあり方を検討して方向性を示します。
- 文化財の標柱等の老朽化がみられるため、整備を進めます。
- 伝統的郷土芸能や歴史的な祭りの保存活動を行なう団体の継承者の育成を図ります。

◆施策の方針

文化や伝統・歴史に親しみをもつ人を育み、郷土愛を培うまちづくりの推進を図るため次の方針を設定します。

- ①旧2町の歴史と伝統文化の相互理解を図ります。
- ②伝統的郷土芸能や歴史的な祭りの保存活動を行なう団体の継承者の育成を図ります。

協働によるまちづくりの具体策（市民と行政の役割分担）

ア) 住民（事業所、地域、団体）の役割

- ①住民は、昔から伝えられた行事などに参加することで、歴史、伝統文化を継承するとともに、それらをもとに新しい文化を創造し伝えていきます。
- ②地域は、地域の歴史や伝統文化を守り、継承することによって連帯感を高めます。
- ③事業所は、地域の行事に積極的に参加し、協力します。

イ) 行政の役割（市がやるべきこと）

- ①文化財の保護、保存と施設の管理を適切に行ないます。
- ②施設や文化財について、市民へ啓発し、活用促進を図ります。
- ③地域の取り組みに応じた支援を行ないます。
- ④学校教育と連携した子どもたちへの啓発を行ないます。

施策の展開（基本事業）

79 基本事業名：歴史と伝統文化（文化財を含む）の保護

対象 ◆歴史と伝統文化（文化財を含む）
 意図 ◆良好な状態で保たれている

成果指標							単位
A：指定された文化財の数							件
成果指標	平成21年度 現状値	数値区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
A	22件	成り行き値	23件	23件	23件	23件	23件
		目標値	23件	24件	25件	26件	27件

◆成果指標の目標設定とその根拠

A：成り行き値は、実績値の推移を踏まえ、平成22年度において、1件増加の見込みであり、この状態で平成27年度まで推移すると考え設定しました。合志地区と西合志地区の文化財指定の基準に相違がありましたので、西合志地区の文化財の指定が少ない状態となっている。今後、西合志地区の文化財の詳細調査を実施することで、西合志地区から新たに文化財の指定が進むと考えられ、平成27年度の目標値を27件に設定しました。

施策の展開（基本事業）

80 基本事業名：歴史と伝統文化に触れる機会の提供

対象 ◆市民、市の出身者
 意図 ◆多くの歴史と伝統文化を知り、触れることができる

成果指標							単位
A：合志市の歴史と伝統文化に触れている市民の割合〔市民アンケート〕							%
成果指標	平成21年度 現状値	数値区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
A	45.6%	成り行き値	45.6%	45.6%	45.6%	45.6%	45.6%
		目標値	46.0%	46.7%	47.5%	48.2%	49.0%

◆成果指標の目標設定とその根拠

A：成り行き値は、実績値の推移を踏まえると、極端な増減はないと考え、平成21年度実績値45.6%で平成27年まで推移すると設定しました。

目標値は、市民に、市の文化財や郷土芸能についての周知を図り、歴史資料館での特別展やふるさと探訪バスツアーなどの取り組みをさらに充実するとともに、伝統的な祭り等を支援していくことで、微増すると考え、第1期基本計画の目標値であった49.0%を平成27年度目標値と設定しました。

施策の展開（基本事業）

81 基本事業名：伝統文化の継承

対象

- ◆無形文化財
- ◆市民、市の出身者

意図

- ◆継承されている
- ◆後継者として育っている

成果指標	単位
A：後継者のいる団体の割合	%

成果指標	平成21年度 現状値	数値区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
A	63.6%	成り行き値	63.6%	63.6%	63.6%	63.6%	63.6%
		目標値	63.6%	63.6%	81.8%	81.8%	81.8%

◆成果指標の目標設定とその根拠

A：成り行き値は、平成21年度実績値を平成27年度まで設定しました。伝統または伝統を活かした活動を後世に継承し、文化振興の担い手となってもうらうため、全ての団体に後継者がいる状況が最も望ましいと思われます。後継者のいない団体4団体について、現在後継者育成に取り組んでいる団体が2団体あるのでその実現を目指して、後継者育成の支援を強化することで、第1期の平成22年度の目標値を81.8%（2団体増）に設定しました。（11団体を支援⇒そのうち後継者が育っている団体の割合）今後さらに後継者育成支援を推進することで平成27年度の目標値を81.8%に設定しました。

※後継者のいない4団体＝高千穂神楽・須屋神楽・黒石神楽・須屋太鼓
うち現在後継者育成に取り組んでいる団体2団体＝高千穂神楽・黒石神楽

